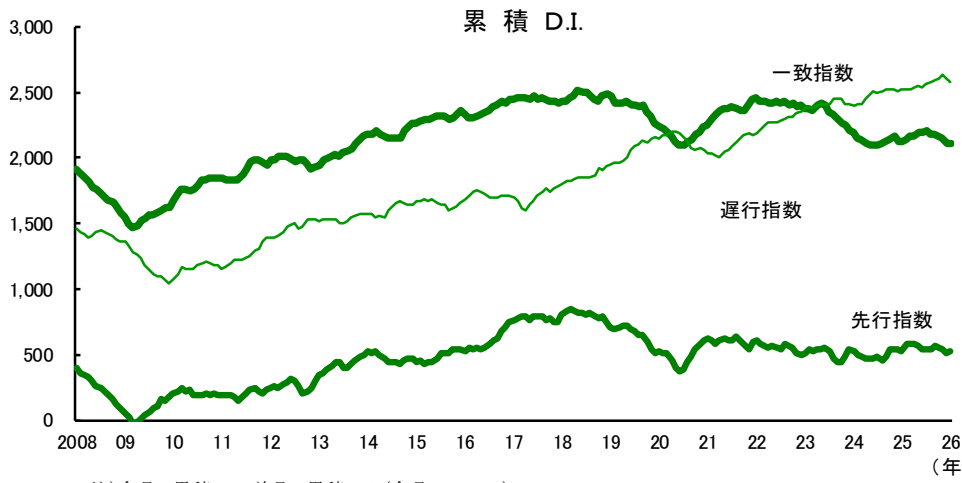


1. 景気動向指数

2026年1月の景気動向一致指数は、有効求人倍率、鉱工業生産指数、鉱工業出荷指数、輸入通関実績（実質）の4項目がマイナスとなり、全体で42.9%と6カ月連続で50.0%を下回った（7項目のうちマイナス4）。

先行指数は、新規求人数（パート含む）、新車登録台数（乗用車）、ホテル・旅館宿泊客数の3項目がプラスとなり、全体では60.0%と4カ月ぶりに50.0%を上回った（5項目のうちプラス3）。

遅行指数は、鉱工業在庫指数、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）、資本財出荷指数、貸出約定平均金利の4項目がマイナスとなり、全体では20.0%と2カ月連続で50.0%を下回った（5項目のうちマイナス4）。



注) 今月の累積DI=前月の累積DI+(今月のDI-50)
一致指数には1,000、遅行指数には600、先行指数には500をそれぞれ加算してある。
資料)宮崎県総合政策部統計調査課

採用景気指標	
先行指数 (5項目)	1. 新規求人数(パート含む) 2. 新車登録台数(乗用車) 3. 鉱工業在庫率指数(逆) 4. 新設住宅着工戸数 5. ホテル・旅館宿泊客数
一致指数 (7項目)	1. 有効求人倍率 2. 県内企業業況判断DI 3. 百貨店・スーパー販売額(実質) 4. 鉱工業生産指数 5. 鉱工業出荷指数 6. 輸入通関実績(実質) 7. 所定外労働時間数(製造業30人以上)
遅行指数 (5項目)	1. 鉱工業在庫指数 2. 家計消費支出(勤労者世帯) 3. 消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合) 4. 資本財出荷指数 5. 貸出約定平均金利

景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を3カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したものを。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の3つがある。一致指数が数カ月連続して50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

$$\text{景気動向指数} = (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} \times 0.5) \div (\text{プラス項目数} + \text{横ばい項目数} + \text{マイナス項目数}) \times 100(\%)$$

2. 鉱工業生産

1月の鉱工業生産指数は、86.5で前年同月比0.3%増とほぼ前年並みとなった。

主要業種別にみると、電子部品・デバイス（同24.6%増）、食料品（同6.2%増）が前年を上回り、繊維（同10.4%減）、化学（同3.3%減）が前年を下回った。

3. 建設関連

① 公共工事

3月の公共工事請負金額は、298億14百万円で前年同月比37.5%増と3カ月連続で前年を上回った。

発注者別にみると、国が同144.6%増、県が同23.6%減、市町村が同10.5%増、その他（独立行政法人等）が187.9%増となった。

② 着工建築物

2月の着工建築物は、棟数は319棟で前年同月比13.6%減、床面積は4万5,978㎡で同21.2%減となった。

内訳をみると、居住用は棟数が同4.8%減、床面積が同24.9%減となり、非居住用は棟数が同46.8%減、床面積が同10.5%減となった。

③ 住宅着工

2月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったものの、貸家、分譲が前年を大幅に下回った。県内合計は370戸で前年同月比36.5%減と5カ月連続で前年を下回った。

4. 個人消費関連

① 百貨店・スーパー販売動向

2月の百貨店・スーパー販売額は54億2,900万円で、前年同月比2.1%減となった。

商品別では、衣料品は5億9,900万円で同9.0%減、飲食料品は32億8,600万円で同0.4%減、その他計は15億4,300万円で同3.0%減となった。

② 乗用車新車販売動向

1月の乗用車新車登録台数は、1,654台で前年同月比10.0%減となった。

車種別にみると、普通車は1,056台で同16.1%減、小型車は598台で同3.5%増となった。

5. 消費者物価指数

2月の宮崎市の消費者物価指数は、113.4で前年同月比1.5%増だった。

6. 企業倒産

3月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は3件（前年同月3件）で前年と同水準だった。負債総額は3億2,000万円（同12億4,600万円）で4カ月連続で前年を下回った。

7. 雇用情勢

2月の有効求人倍率は、前月から0.01ポイント減の1.14倍となった。

新規求人数は8,155人で前年同月比2.1%減となった。

雇用保険受給者数は、4,247人で同8.6%増となった。

〈今月のトピックス〉～ 2025年度の公共工事請負金額

西日本建設業保証によると、2025年度の宮崎県の公共工事請負金額は1,779億円（前年度比0.4%増）と前年をわずかに上回った。発注者別にみると、国459億円（同11.1%増）、県689億円（同1.1%減）、市町村560億円（同2.5%減）、独立行政法人等・その他72億円（同18.3%減）となっている。

公共工事請負金額

